

超音波測定器 エルソニック ESI/P-10



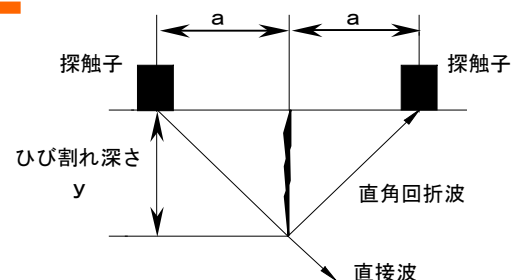
←小型センサー
(オプション品)

特徴

- ◆ひび割れ深さ測定
超音波を用いて、高架橋・橋梁・トンネル・連壁・床版などコンクリート構造物の表面上のひび割れ深さを非破壊で精度良く測定します。
- ◆透過・表面音速測定
国交省の「微破壊・非破壊試験によるコンクリート構造物の強度測定」の適合品です。
コンクリート内部の健全性判定、品質評価で音速を測定します。
- ◆様々な用途で使用されます。
 - ・新設コンクリート構造物の品質管理
 - ・コンクリート強度測定
 - ・鉄筋腐食の可能性評価
 - ・コア抜き等の特別検査の必要性検討材料

ひび割れ深さの測定（直角回折波法）

ひび割れを挟んで、探触子2本を等間隔にひび割れの近い位置から当て、緑のランプの点灯を確認しつつ、探触子をさらに遠ざけます。ランプの色が緑から赤に変わる位置を探し、赤ランプに変わった位置で探触子の中心に印を付け、ひび割れと探触子の距離を測り、ひび割れの深さを求めます。
コンクリートの音速に関係なく、また鉄筋があっても独自のランプ法（直角回折波法）でひび割れ深さの測定が可能です。



仕様

測定内容	ひび割れ深さ測定	透過音速測定
測定原理	ランプ法（直角回折波法）	伝搬距離÷伝搬時間（エルソニックで測定）
測定範囲（目安）	8～30mm（小型センサー） 30～500mm	時間 0.1～999.9μs 距離 1000mm以下 *標準センサー使用時
測定精度	深さ8～30mmの平坦面 ±5mm （小型センサー） 深さ30～150mmの平坦面 ±10mm 深さ150mm～の平坦面 ±10% （標準センサー） *ランプ法で測定した場合	長さ250mmで±0.3μs *同一コンクリート面での繰り返し精度
公称周波数	標準センサー 28kHz 小型センサー 200kHz	
使用温湿度範囲	0～40℃、80%RH以下（結露しない事）	
大きさ・重さ	本体：約240(W)×245(D)×105(H)mm 約3.2kg 標準センサー：約φ20（振動面）×125(L)mm 約400g ケーブル長3m 小型センサー：約φ12（振動面）×60(L)mm 約200g（オプション品）	
電源	AC100V（ACアダプターによる） 単3アルカリ電池×8本 【電池寿命】連続使用時間約30分 *ひび割れ深さ測定、音速測定は消費電力が大きいので、AC100Vの使用を推奨します。	
付属品	ひび割れ・音速探触子ESP-10×2本、ACアダプター、ブラシ、折尺、ヘラ、 L型中継アダプタ2種、収納ケース、取扱説明書、 【販売消耗品】接触媒質	